

10  
2002  
月号  
vol.133

宮城県倫理法人会会報 ■rapport■

# ラポール

● 平成15年度 宮城県倫理法人会役員辞令交付式

● 設立20周年、2000社達成へ向けての役員人事布石

● 盛り上がった懇親会。各単会ともやる気満々

ラポール (rapport:フランス語)  
もともとは報告・つながり・関係  
などを意味するが、対人関係に  
おける円滑な精神的交流を指す  
ようになった。



## 宮城県倫理法人会 スローガン

- 一、倫理経営を通して活力ある企業を創る
- 一、倫理運動を通して明るく豊かな地域社会を創る
- 一、倫理活動を通して未来を担う新進気鋭の人材を創出する

## 倫理が欠如した政・官・財

宮城県倫理法人会 会長 原田 善征  
(株式会社ホテル原田 社長)



昭和20年、創始者丸山敏雄先生は、敗戦により国情が混乱し、道義心や道徳心が失われて退廃した日本の姿を憂い倫理運動を始めました。昭和20年と現在は倫理観がよく似ているという方もおります。しかし、昭和20年は敗戦で食べるものがなく、生活に追われて学問などはほとんど度外視されていました。現在の日本は、不況とはいえ食べ物は豊かで学問も平等に学ぶことができます。

最近の日本は倫理が欠如しているとよく言われます。新聞やテレビで毎日報道されているように目を覆いたくなるような政、官、財の不祥事が相次いでいます。特に最高学歴を持ち、国民を指導する立場の人達が、悪と知りつつ手を伸ばし、中には自ら悪事を指導する人もいるほどです。政治も、企業も倫理観が欠如しているとしか思われません。

倫理観が欠如したために起こった食糧難も問題の一つです。新聞論評にあるように、こんな形で食糧難がやって来るとは思ってもいませんでした。相次ぐ大手企業による食品偽装問題に加え、農薬に汚染された中国輸入野菜が出回りました。国内でも農薬を適正指導しなければならない立場の人が販売に関与し、無登録農薬が広範囲に出まわってしまいました。私たちは自らの手で安全な食べ物を探さなければならなくなったのです。中国ではここ数年、有機リン系の農薬に汚染された野菜を食べて中毒を起こした人が相次ぎました。それで香港のスーパーでは、農薬に汚染された中国野菜に「毒菜」と表示して販売しているそうです。まさに食糧難の時代が到来したのです。国の輸入届出法に食品衛生法があり、不適格とされた違犯事例が700件を超えたそうです。その大半は日本で使用禁止されている農薬で、何年にも渡り取り調べの公的機関をすり抜けていた事実が明るみに出ました。

農薬や防腐剤は人類存亡にかかわる大問題ではないかと思えます。奇形の赤ちゃんが生まれたり、子供が生めなくなった体になってしまったら誰がその責任を取るのでしょうか。ここ50年の間に男性の精子の数が半減しているそうです。これは環境ホルモンが原因とされています。利便性を追求し、豊かな暮らしが手に入ったその陰で、何か得体の知らない不気味なものが私たちを脅かしています。安全性が十分確認されないまま、年間1000種を超える新たな化学物質が開発されています。

倫理を学ぶ私達は、今こそこの困難な問題に真っ正面から取り組み、正しい方向に導こうではありませんか。

# 平成15年度 宮城県倫理法人会役員辞令交付式

— 設立20周年の2000社達成へ向けて始動開始 —

日時/平成14年9月5日午後6時から 場所/仙台サンプラザ

宮城県倫理法人会は平成15年度の役員辞令交付式を、倫理研究所より三好雅典総務部長を迎え、9月5日午後6時より仙台サンプラザで行いました。今年度は平成17年(2006年)の設立20周年2000社達成に向けての大事な役員布陣となりました。倫理研究所では5万社達成に向かって躍進中です。宮城県も倫理法人会の老舗として2000社を達成させ、全国の会友に「宮城県倫理法人会ここにあり」とアピールしようではありませんか。21世紀の秩序は倫理からです。原田善征会長率いる「原田丸」も二年目に入り、益々円熟味が増してきました。この「原田丸」が目指すは水平線の彼方にある2000社の宝島です。



・スーパーバイザーの辞令を受ける星川潔一、田中裕人両常任相談役



・レクチャーの辞令を受ける原田善征県会長ほか8名



・レクチャーの辞令を受ける小倉寿一宮城野会長ほか9名



・宮城県倫理法人会の会長辞令を受ける原田善征会長



・県役員役員辞令交付



・県役員辞令交付式



・二期目の県会長に就任し、挨拶する原田善征会長



・辞令を受けて挨拶する奥地邦男県幹事長



・和田毅北海道・東北方面長の指揮で「GENKI」のスローガンを唱和する全役員

## ◆仙台中央倫理法人会



会長 鈴木 征三郎  
(パセロン歯科医院 院長)

240社を目標に掲げての辞令交付式。「日本再生の鍵は倫理の普及にあり」と鈴木征三郎会長は力説します。さらに鈴木会長は率先垂範して倫理の普及拡大に努めるとどうじに、日本人が失いかけている道德規範を取り戻さなければと語っています。



## ◆石巻市倫理法人会



新会長 末永 勸二  
(末永海産株式会社 社長)

目標175社達成!と力強い辞令交付式。末永勸二新会長は「倫理活動で石巻地域の活性化を図る」と張り切っています。新会長のもとで、石巻市倫理法人会は大きく変わろうとしています。



## ◆仙南倫理法人会



会長 佐藤 隆雄  
(株式会社ジェーシーアイ 社長)

必達、150社!と富士研での誓いを胸に秘めての辞令交付式。佐藤隆雄会長は富士研で三つのスローガンを立てました。それは「こだわる・かかわる・挑む」で、2006年に150社を達成するためのスローガンです。



## ◆佐沼倫理法人会



会長 鹿野 博之  
(株式会社グランドホテル鹿野 社長)

会員120社を目標に、気を引き締めての辞令交付式。鹿野博之会長は富士研で会員を120社にすると発表。

そして「富士研は自己の本源に目覚めるところ」と、充実した研修であったことを会員に報告した

そうです。



## ◆大崎倫理法人会



会長 佐藤 俊明  
(株式会社佐藤製菓 社長)

2006年に160社。更に栗原倫理法人会を立ち上げる決意をしての辞令交付式。

佐藤俊明会長は「倫理に惚れ直す」とタイムリーなテーマを掲げました。

倫理に惚れ直し、倫理を恋人のように愛する佐藤会長に期待しましょう。



## ◆仙塩倫理法人会



会長 鈴木 光夫  
(株式会社鈴電 社長)

将来の目標150社を掲げての辞令交付式。

鈴木光夫会長は今期中に100社に復帰させ、さらに20周年には150社達成を目標に掲げました。倫理の輪「和」

を大切に、仙塩はアットホーム的で明るく楽しいモーニングセミナーを実行中です。



## ◆気仙沼倫理法人会



会長 村上 力男  
(株式会社あさひ館 社長)

168社を目指しての辞令交付式。村上力男会長は「日本の凋落を正すのはわれら倫理法人会である」と力説します。そうして信念と情熱をもって堂々と挑めば「民の欲するところ、天も必ずこれに従う」と会員を励ましています。



## ◆仙台泉倫理法人会



会長 萱場 靖夫  
(カヤバ管材株式会社 社長)

230社のノルマを掲げての辞令交付式。萱場靖夫会長率いる仙台泉倫理法人会の目標は230社。この数は将来分封することを考慮に入れています。仙台ロイヤルパークホテルという日本一の豪華な会場で行われているモーニングセミナーは会長自慢の一つです。



## ◆仙台若林倫理法人会



会長 松谷 一夫  
(株式会社 松や 社長)

150社達成に挑む辞令交付式。松谷一夫会長率いる若林倫理法人会は、楽しく希望を持って150社に向かおうとしています。また20周年に向けては、宮城野倫理法人会と協力し、新体制を構築してさらなる会員拡大を考えているようです。



## ◆仙台宮城野倫理法人会



会長 小倉 寿一  
(株式会社オグラ 社長)

富士研で230社を誓っての辞令交付式。小倉寿一会長の「楽しく学んで結果を出す」の語録にあるように、20周年に向かつての新設法人会立ち上げが始動しました。仙台若林倫理法人会と歩調を合わせての会員拡大ですが、ベテランの多い宮城野は大いに期待されています。



## ◆仙台太白倫理法人会



会長 高野 十  
(株式会社オートランドリーカノ 社長)

156社を目標にした辞令交付式。100社でスタートした高野十会長率いる太白倫理法人会ですが、このところ会員割れが続いています。しかし、2006年までには156社に拡大し、宮城県倫理法人会2000社達成の原動力になろうとしています。



## ◆仙台青葉倫理法人会



会長 林 昭兵  
(南東洋環境開発 社長)

128社を目標にした辞令交付式。青葉倫理法人会の林昭兵新会長は、20周年にむけた会長の決意に128社達成を掲げました。富士研では「私は、我が社と倫理法人会の発展及び、日本再建と世界平和に貢献します」と宣言しました。期待が大きい林新会長です。



## ◆ さくら倫理法人会



会長 齋 清志  
(株式会社エフエフオー 社長)

さくらの開花から230社の実をつけることを誓っての辞令交付式。

齋清志会長はスローガンに「夢かぎりなく、会員とめどなく」

を掲げ、2006年の8月までには230社達成することを誓いました。さくらはいつも絶好調で、やる気満万の齋会長と会員の結束が強い会です。



## 盛り上がった懇親会！ 役員への気持ちは、早くも2000社達成に向けて始動開始。

平成15年度の宮城県倫理法人会役員辞令交付式も無事終了し、同ホテルでささやかな懇親会が模様されました。今期の懇親会は始めから大変盛り上がり、原田会長はじめ全役員は、既に20周年2000社達成にむけて始動開始したようです。



・懇親会会場で挨拶する三好雅典総務部長



・石川茂男地区長の発声でカンバイ!



・地区長4強揃い踏み!



・新入会員もパーティーに出席。将来の幹事候補か!



・和気あいの懇親会



・司会の塚本さんも懇親会終了しゴキゲン!



・研究所の三好雅典総務部長、和田幹方面長を囲んで記念撮影。



・仙台はじっくりやっていますよ。



・見よこの仙台中央の意気込みを。珍しいくらいハissルしてます。



・仙台青葉も負けてはいません。林昭兵新会長を先頭に頑張るぞ!



・仙台泉はもっとすごい頑張れ、頑張れ、カ・ヤ・イ!